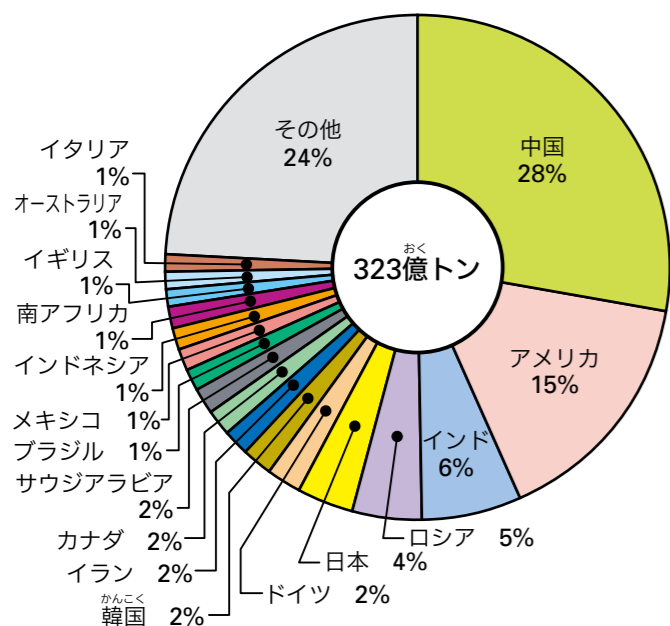


5 地球温暖化をふせごう!

◎世界の二酸化炭素排出量のうちわけ(2016年)



(出所) IEA「CO₂ Emissions from Fuel Combustion (2018 Edition)」

エネルギーをたくさん使っている国ほど二酸化炭素をたくさん出しているよ。日本は世界で5番目に二酸化炭素を出している。これまでは先進国の排出量が多かったが、今後は発展途上国からの排出もふえると予想されている。

温暖化は地球規模の問題なのでひとつの国や地域だけでは解決できない。世界では多くの国が協力しながら温室効果ガスをへらす取り組みを始めている。

日本も世界で5番目に二酸化炭素を出している国だから貢献しなきゃ。

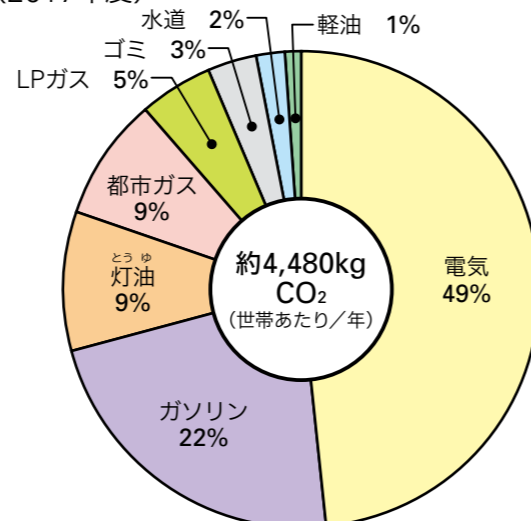


日本とわたしたちの取り組み

日本は2030年までに2013年の温室効果ガス排出量とくらべて26%へらすことにしている。たとえば発電するときに二酸化炭素を出さない再生可能エネルギーをもっと活用したり、エ

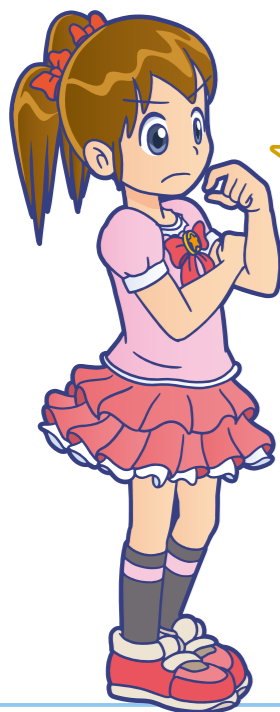
ネルギーを効率的に使う技術を取り入れていくなどの取り組みが進められている。わたしたちも自分自身の生活とエネルギーの使い方を見直そう。

◎家庭からの二酸化炭素排出量のうちわけ(2017年度)



(出所) 温室効果ガスインベントリオフィス「日本の1990-2017年度の温室効果ガス排出量データ」

電気を使うことでわたしたちも二酸化炭素を出しているのね。



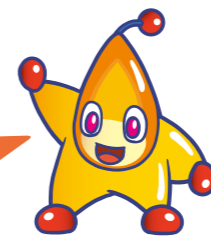
世界の取り組み

地球温暖化を止めるためには、対策を始めてから効果があらわれるまで時間がかかる。そのためできるだけ早く世界の国々と共通の目標に向かって協力していくことが大事である。

世界各国は地球温暖化対策についても話し合いをかさね、2015年にフランスのパリで開催された国際会議(COP21)で2020年以降の対策を取り決めた。この新たな取り決めを「パリ協定」とよんでいる。パリ協定には世界中のほとんどの国が参加することを決めている(アメリカは2020年11月に協定から抜けることが決まっている)。

パリ協定は途上国をふくむ全ての参加国が温室効果ガスの排出量をへらす努力をおこなうことになっており、各国が自主的に目標を定めている。

パリ協定は世界の多くの国が約束したんだよ。



◎おもな国・地域の温室効果ガス削減目標

国名	目標年	温室効果ガスの削減目標	くらべる年
日本	2030年まで	26%減	2013年比
中国	2030年まで	GDPあたりの二酸化炭素排出を60~65%減	2005年比
インド	2030年まで	GDPあたりの二酸化炭素排出を33~35%減	2005年比
EU	2030年まで	40%減	1990年比
ロシア	2030年まで	70~75%におさえる	1990年比
アメリカ	2025年まで	26~28%減	2005年比

※アメリカは脱退表明前の目標数値。
 ※EU、アメリカの削減目標を日本の目標年2013年比に合わせると、EU24%減、アメリカ18~21%減となる。
 (出所) 国連気候変動枠組条約に提出された約束草案より抜粋 全国地球温暖化防止活動推進センターまとめを基に作成

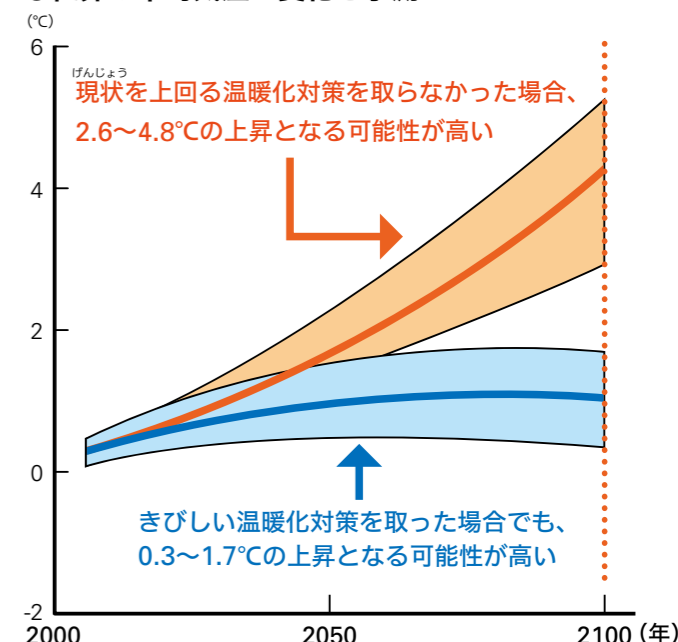
パリ協定による世界の長期目標

- ◎世界の平均気温上昇を産業革命以前にくらべて2℃より低く、1.5℃におさえる努力をする。
 - ◎できるかぎり早く世界の温室効果ガス排出量の増加を止め、21世紀後半には、温室効果ガス排出量と(森林などによる)吸収量のバランスをとる。
- 各国の目標
 5年ごとに削減目標の達成度合いを報告し、新たな目標を提出する。



COP21 (2015年 フランス・パリ)

◎世界の平均気温の変化と予測



※1986~2005年平均気温からの気温上昇(産業革命前と比較する際は0.61℃を加える)
 (出所) IPCC第5次評価報告書統合報告書 図SPM.6(a)より環境省作成資料を基に作成

ポイント

地球温暖化をくいとめるためには世界の国々やわたしたちの協力が必要なんだね。

考えてみよう

自分たちにもできる二酸化炭素をへらす取り組みを考えてみよう。